

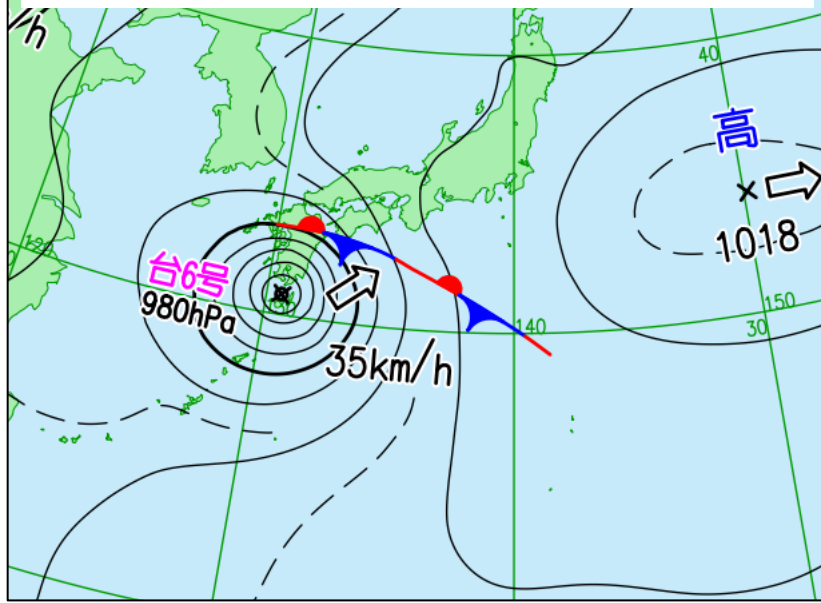
九州南部に接近した台風第6号について

2026(R8)年6月23日(火)

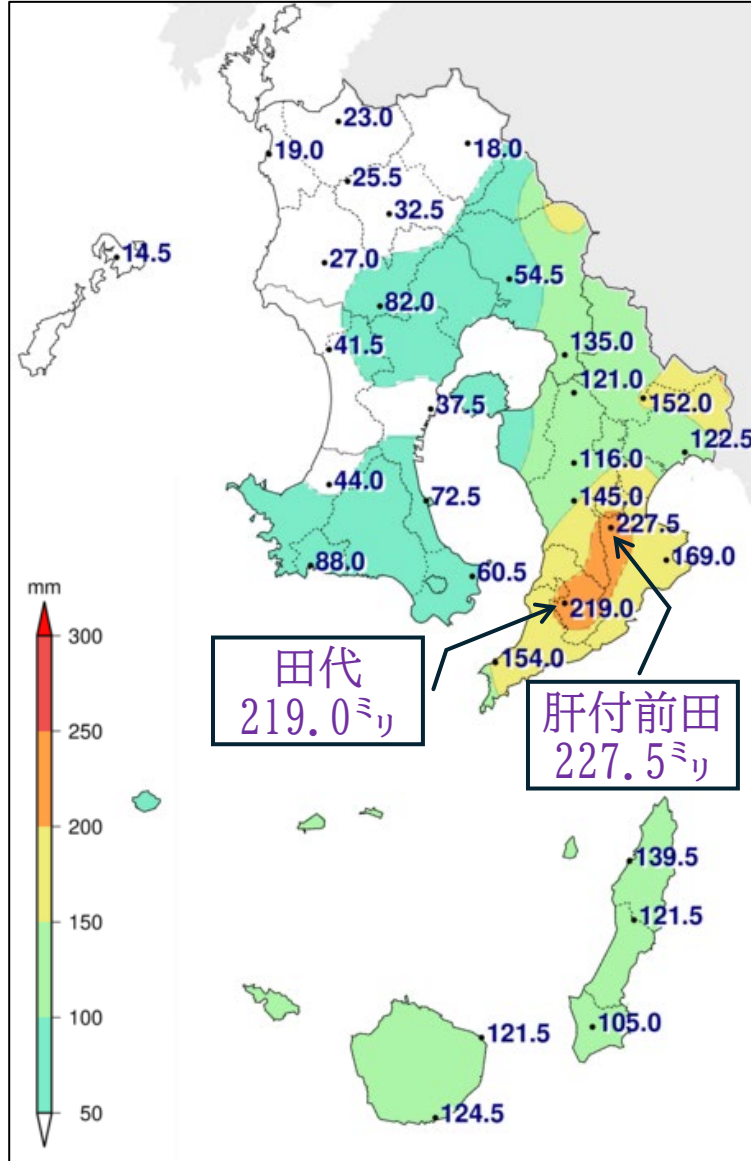
鹿児島地方気象台

【概要】九州南部に接近した台風第6号について(6月に九州南部に接近したのは2023年以来)

令和8年6月2日15時 地上天気図



令和8年6月1日18時から2日18時までのアメダス24時間積算降水量



日最大瞬間風速・風向の6月の極値
(統計期間10年以上の観測所 官署地点を除く)
※薩摩、大隅、種子島・屋久島地方を掲載

地点名	値(m/s)	起日	これまでの極値(m/s)	統計開始年
大口	東 18.8	6月2日	西 17.1 (2020年 6月30日)	2009年
溝辺	北東 22.6	6月2日	西南西 19.5 (2020年 6月30日)	2009年
志布志	東南東 21.9	6月2日	東 16.7 (2023年 6月 2日)	2008年
肝付前田	東北東 27.1	6月2日	南西 24.6 (2013年 6月26日)	2009年
内之浦	東 26.1	6月2日	西 23.9 (2013年 6月26日)	2009年
田代	東北東 26.0	6月2日	西北西 22.4 (2024年 6月21日)	2008年

5月27日カロリン諸島で発生した台風第6号は、6月1日から2日にかけて風速25メートルの暴風域を伴い奄美地方に接近し、2日夕方には薩摩、大隅、種子島・屋久島地方に最接近した。

薩摩、大隅、種子島・屋久島地方では、6月2日は台風第6号の接近により、各地で非常に激しい雨や激しい雨が降り、6月1日18時から2日18時までのアメダス24時間積算降水量は、台風の東側から湿った空気の流れ込みが強かった大隅地方で200mmを超えた所があった。また、日最大瞬間風速は6月の極値を更新した所があった。

気象台は、台風第6号の接近により気象解説情報、注意報、警報を段階的に発表し暴風や高波、土砂災害等に対し嚴重な警戒を呼びかけた。また、線状降水帯半日前予測を行い、大雨災害に対して警戒を呼び掛けた。大隅地方を中心に降水量は多くなったが、線状降水帯発生情報、警戒レベル4相当以上の発表はなかった。

気象解説情報

発表時刻	情報名
2026年6月2日 23時4分	鹿児島県(奄美地方を除く)気象解説情報(台風第6号) 第8号
2026年6月2日 17時2分	鹿児島県(奄美地方を除く)気象解説情報(台風第6号) 第7号
2026年6月2日 11時32分	鹿児島県(奄美地方を除く)気象解説情報(台風第6号) 第6号
2026年6月2日 9時3分	鹿児島県(奄美地方を除く)気象防災速報(竜巻注意) 第1号
2026年6月2日 5時25分	鹿児島県(奄美地方を除く)気象解説情報(台風第6号) 第5号
2026年6月1日 23時47分	鹿児島県(奄美地方を除く)気象解説情報(台風第6号) 第4号
2026年6月1日 17時23分	鹿児島県(奄美地方を除く)気象解説情報(台風第6号) 第3号
2026年6月1日 16時11分	鹿児島県(奄美地方を除く)気象解説情報(線状降水帯半日前予測) 第1号
2026年6月1日 5時36分	鹿児島県(奄美地方を除く)気象解説情報(台風第6号) 第2号
2026年5月31日 17時33分	鹿児島県(奄美地方を除く)気象解説情報(台風第6号) 第1号

【その他】

気象解説情報：線状降水帯半日前予測を行った事例の内、レベル4 土砂災害危険警報を発表した事例

現象	最初に発表した年月日時分	気象情報／気象解説情報	線状降水帯発生情報 あり／なし	土砂災害警戒情報 レベル4 土砂災害危険警報
低気圧、前線	令和8年5月26日16時50分	大雨に関する鹿児島県（奄美地方を除く）気象情報 ←線状降水帯半日前予測	なし	土砂災害警戒情報 (5月27日)
台風第6号	令和8年6月1日16時11分	鹿児島県（奄美地方を除く）気象解説情報（線状降水帯半日前予測）	なし	—
低気圧、前線	令和8年6月6日15時31分	鹿児島県（奄美地方を除く）気象解説情報（線状降水帯半日前予測）	なし	レベル4 土砂災害危険警報 (6月7日)

線状降水帯半日前予測

線状降水帯による大雨の可能性が高いことが予想された場合に、半日程度前から「気象解説情報（線状降水帯半日前予測）」にて呼びかけます。

線状降水帯だけが大雨災害を引き起こす現象ではないことから、線状降水帯半日前予測の呼びかけがなくとも大雨による災害のおそれがあるときは、早期注意情報や気象解説情報、大雨警報、キキクル等の防災気象情報全体を適切に活用することが重要です。この情報が発表された際には、今後の大雨によって外出等が困難な状況になるおそれがあることから、崖や川の近くなど危険な場所にいる方は、周辺の状況や自治体による避難情報等に留意し、速やかに適切な防災行動をとることが大切です。

線状降水帯直前予測

線状降水帯直前予測は、線状降水帯が発生する危険性が高まった際に発生のおそれがあることを2～3時間前を目標に、「気象防災速報（線状降水帯直前予測）」にて発表します。この情報が発表された際には、今後の大雨によって外出等が困難な状況になるおそれがあることから、崖や川の近くなど危険な場所にいる方は、周辺の状況や自治体による避難情報等に留意し、速やかに適切な防災行動をとることが大切です。

線状降水帯予測マップ

線状降水帯による大雨のおそれがある領域を地図上に示した「線状降水帯予測マップ」を提供しています。線状降水帯直前予測が発表されていなくとも、メッシュ表示されている場合は線状降水帯発生のおそれがあることから、今後の防災気象情報に留意し、状況に応じて適切な防災行動をとってください。

線状降水帯発生情報

線状降水帯発生情報は、大雨による災害発生のおそれが高まっている中で、線状の降水帯により非常に激しい雨が同じ場所で実際に降り続けている状況を「線状降水帯」というキーワードを使って解説する情報です。

この情報は警報などの警戒レベル相当情報を補足する情報です。警戒レベル4相当以上の状況で発表します。崖や川の近くなど、危険な場所にいる方（土砂災害警戒区域や浸水想定区域など、災害が想定される区域にいる方）は、地元市町村から発令されている避難情報に従い、直ちに適切な避難行動をとってください。

